

笑顔いっぱい 清里っ子



荒尾市立清里小学校便り

第12号

R3. 3. 16(火)

文責 立石 毅

一年間を振りかえって

令和2年4月9日(木)に、19名の1年生をむかえてスタートした令和2年度が、あっという間に終わろうとしています。

この一年間を振りかえってみると、コロナウイルスに翻弄された令和2年度でした。入学式はなんとかできたものの、すぐに4・5月と臨時休業。子どもたちが楽しみにしていた歓迎遠足をはじめとして、PTA総会、家庭訪問、運動会とすべて中止となりました。

また、6月から学校再開となっても、三密を避けるために、みんなで集まる集会や集団での運動、感染防止のために調理実習や合唱・合奏の授業はできませんでした。臨時休業中や学校が始まっても、いつも通りに休みの日に友だちと集まって遊ぶこともできませんでした。

学校再開後は、コロナ禍の中での新様式での学校生活ということで、朝から検温をしてマスクをつけて登校、登校したら昇降口でアルコール消毒をして教室に入り、教室の席は離して、エアコンを入れて窓は少し開けたままで授業を行いました。

いろいろなことがいつも通りにはできなかった一年間でしたが、そのような中、幸いなことに、清里小学校は学級の人数が少ないので、密にならないように工夫し、換気を十分に行ったり、外での活動を中心にしたりして、ミニ運動会や北稜高校との交流活動(花壇づくり)、学年ごとの学習発表会などを実施することができました。

あまりよいことがなかった一年間のように思いますが、ただ、いつも通りできなかった分、あたりまえにできていたことの大切さに気づくことができました。また、友だちと密に遊べなかった分、友だちの大切さもわかりました。以前よりも、子ども同士が仲よくなったように感じます。

とはいえ、やっぱり、「早くコロナウイルス感染拡大前の生活に戻りたいな」とつくづく思います。早期の感染収束を願うばかりです。

学校評価お世話になりました

保護者の皆様には、学校評価お世話になりました。別紙プリントでもお知らせしましたが、すべての項目で、平均3以上の評価(4段階評価)でした。そして、その中でも一番高かったのが、「子どもは、楽しく学校に通っている」という項目で、3.7でした。この項目は、児童へのアンケートでも3.5でした。低かった項目は、「子どもは、学校や図書館から本を借りるなどして、進んで読書をしている」で、3.0でした。他の調査で、家庭でゲームやテレビを見ている時間がとても多かったのも、その分、家庭では読書をしていないのではないかと考えます。ただし、子どもたちは、学校ではよく本を読んでいます。(学校には、ゲームやスマホがないので、したくてもできないからです。)

また、児童へのアンケートでは、「先生は、いじめや仲間外しのない学校になるように考えてくれている」「先生は、わかるまで丁寧に教えてくれる」「先生は、困ったことや

相談をよく聞いてくれる」という項目が、3.8で一番高かったです。児童のアンケートでは、唯一、「わたしは、学習のきまりを守って学習している」（学習中の姿勢の項目）が2.9で、3以下でした。

保護者の皆様の評価、子どもたちの評価ともに全体的にはよい評価でしたが、子どもたちの評価において、「わたしには、いいところがある（自己肯定感）」という項目で、低い評価をつけている子がやや多かったのが気になりました。自分に自信がないのでしょうか？一人ひとりが自分のよさに気づき、自信をもって自分のよいところと言えるように、さらに、全職員で、一人ひとりを認め・褒め・励ましていきます。ご家庭でも、お子さんをたくさん褒めてあげてください。

お忙しい中、学校評価へのご協力ありがとうございました。

卒業式に向けて

新型コロナウイルス感染拡大が収束していない状況なので、本年度の卒業式も、出席者数を制限しての実施となりました。6年生児童、6年生保護者、本校児童代表、本校教職員、教育委員会職員での実施です。呼びかけや歌なども、変更しての実施となります。ご来賓の皆様には、おいでいただき卒業生の門出を祝っていただきたかったのですが、今年もお招きできません。（ご了承ください。）

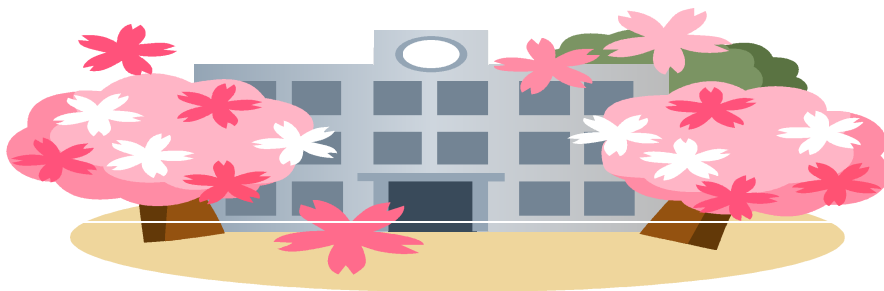
6年生にとって、よい思い出に残る卒業式になるよう、全職員で準備をしていきます。

13名の6年生 卒業 おめでとう



学校便りも最終号になりました。保護者の皆様、地域の皆様、一年間いろいろな活動にご支援・ご協力をいただき本当にありがとうございました。

まだまだ、新型コロナウイルス感染の収束が見通せない状況です。感染防止対策を十分に行っていただき、お身体には充分にご自愛なさってお過ごしください。



私も、本年度をもって教職生活を卒業することとなりました。本当にお世話になりました。ありがとうございました。